

遺伝子変異タンパクの迅速診断 GATA-1遺伝子に着目したフローサイトメリー検出

概要

日本では年間約1000人のダウン症新生児が出生し、そのうち年間約100人が一過性骨髄異常増殖症（以下、TAM）を発症すると言われている。TAMを検出する技術は確立されているものの、解析結果を得るのに数日間を要しているのが現状である。本発明は、TAMを発症したダウン症児のほとんどが、GATA1遺伝子（GATA-1f及びGATA-1s）の変異が認められる事に注目し、フローサイトメリー法による迅速診断法に関する。

一つのタンパク質に対して、異なるEpitopeを持つ複数の抗体を用いて反応させ、フローサイトメリーで検出できるのを確認した。さらに、TAM患者より採取した血液から末梢血単核細胞を単離し解析を行ったところ、検出されたほとんどがGATA-1であることを確認した。

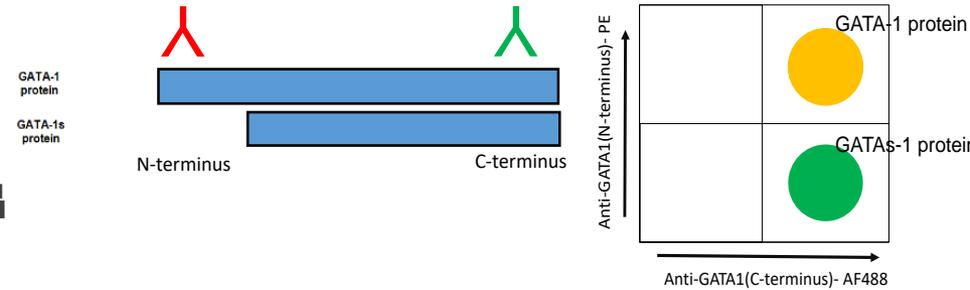
応用例

- 急性骨髄性白血病等の診断キット

知的財産データ

知財関連番号 : 特許第6956402号
 発明者 : 工藤 耕、伊藤 悦朗
 整理番号 : K23-017

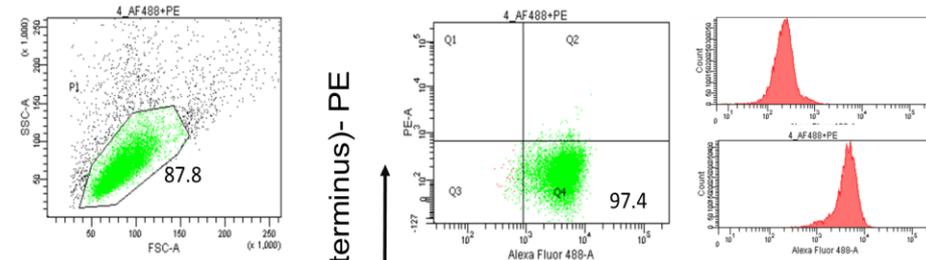
2つの抗GATA-1抗体を用いてフローサイトメリー法により検出



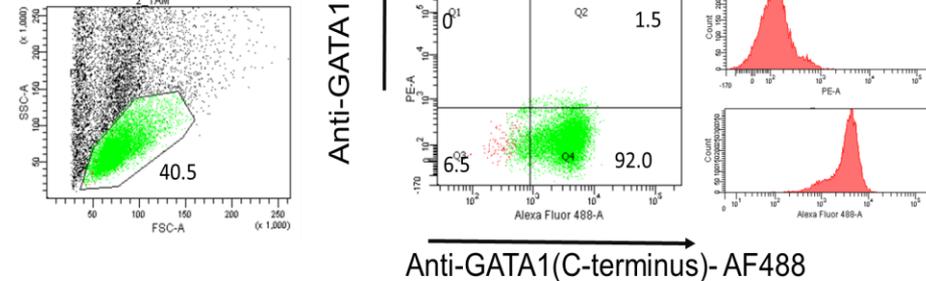
dual probing FACS解析により診断結果

患者由来の末梢血全血を使用

(1) TAM #1 PBMCs



(2) TAM #2 PBMCs



お問い合わせ

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH